

## 第2 結果の概要

### 1 農林業経営体

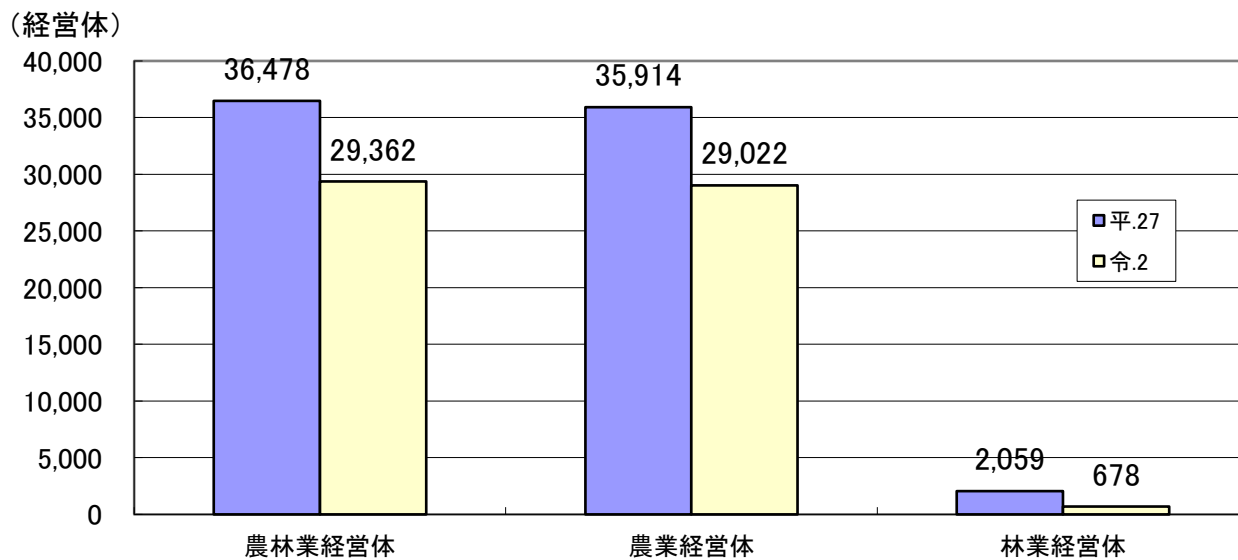
令和2年2月1日現在の本県の農林業経営体数は29,362経営体で、前回2015年農林業センサス（以下「前回」という。）に比べ19.5%減少した。

このうち、農業経営体数は29,022経営体で、前回に比べ19.2%、林業経営体数は678経営体で、前回に比べ67.1%、それぞれ減少した。

表1 農林業経営体数 単位：経営体

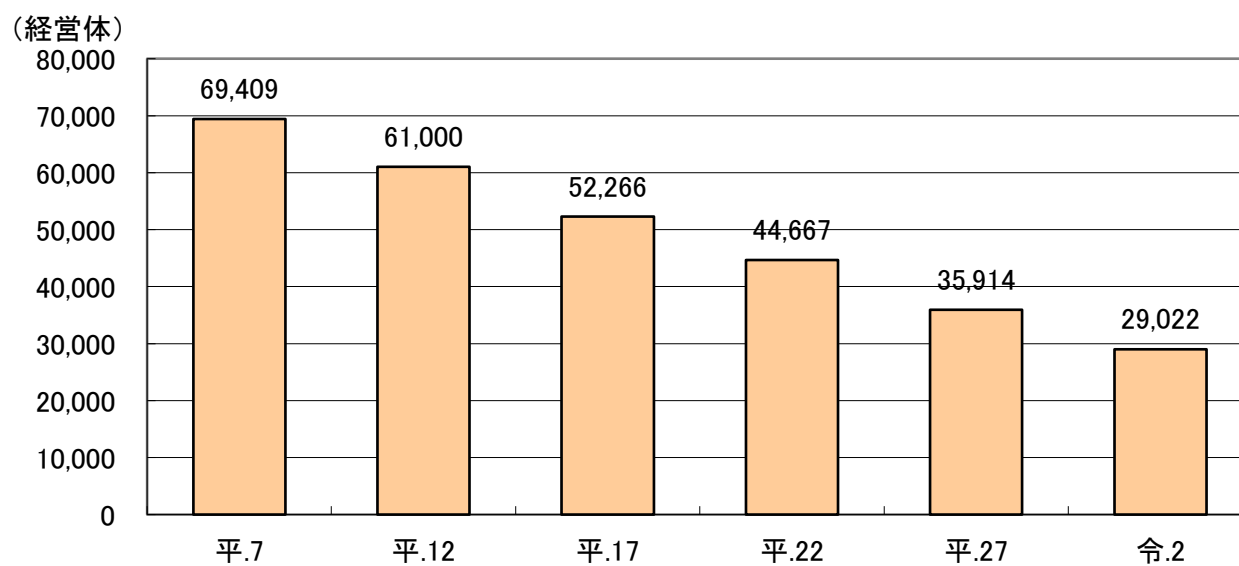
区分	農林業 経営体	経営体	
		農業経営体	林業経営体
2015年(H.27)	36,478	35,914	2,059
2020年(R.2)	29,362	29,022	678
増減数 (R2-H27)	△7,116	△6,892	△1,381
増減率(%) (R2-H27)/H27	△19.5	△19.2	△67.1
構成比(%)			
2015年(H.27)	100.0	98.5	5.6
2020年(R.2)	100.0	98.8	2.3

図1 農林業経営体数の状況



注：農業経営体と林業経営体を合わせて営んでいる経営体は、農業経営体と林業経営体にそれぞれ含まれるため、これらの合計と農林業経営体数は一致しない。

図2 農業経営体の推移



注：平.12以前の農業経営体数は、「販売農家数」、「農家以外の農業事業体数」及び「農業サービス事業体数」の合計である。

※ 農林業経営体調査は、平.12までの農業3調査と林業3調査を統合して、平.17から開始したものであり、平.12までとは調査対象の基準が違うため、平.12以前と平.17以後の農業経営体数及び経営耕地面積等については、直接比較が出来ないため留意が必要。

## 2 農業経営体

### (1) 組織形態別経営体数

農業経営体を組織形態別にみると、法人化している経営体数は646経営体で、前回に比べ23.3%増加した。また、法人化している経営体の農業経営体全体に占める割合は2.2%となり、前回(1.5%)よりも0.7ポイント上昇した。

このうち、会社が396経営体で、前回に比べ51.1%、各種団体が109経営体で、前回に比べ1.9%、それぞれ増加した。

表2 組織形態別経営体数

単位：経営体

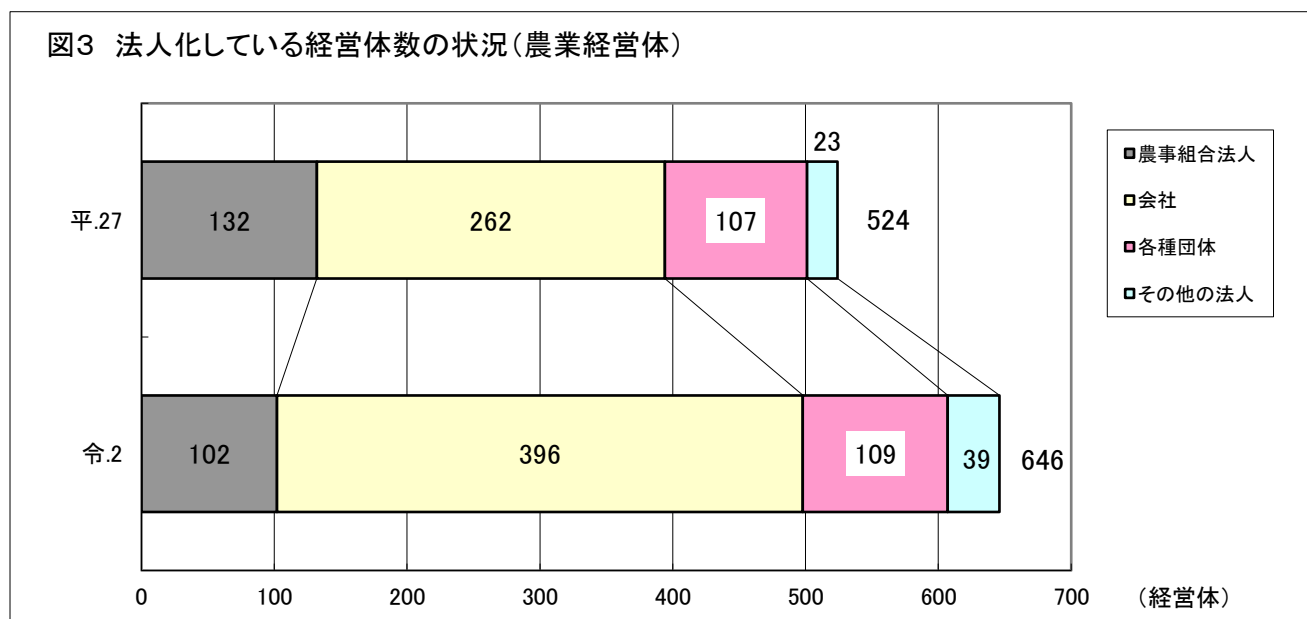
区分	合計	法人化している					
		計	農事組合法人	会社			
				小計	株式会社	合名・合資会社	合同会社
2015年(H.27)	35 914	524	132	262	252	1	9
2020年(R.2)	29 022	646	102	396	374	—	22
増減数(R2-H27)	△ 6 892	122	△ 30	134	122	△ 1	13
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 19.2	23.3	△ 22.7	51.1	48.4	皆減	144.4
構成比(%)							
2015年(H.27)	100.0	1.5	0.4	0.7	0.7	0.0	0.0
2020年(R.2)	100.0	2.2	0.4	1.4	1.3	0.0	0.1

(つづき)

単位：経営体

区分	法人化している(つづき)						地方公共 団体・ 財産区	法人化して いない	個人経営体
	各種団体				その他の 法人				
	小計	農協	森林組合	その他の 各種団体					
2015年(H.27)	107	52	2	53	23	18	35 372	35 037	
2020年(R.2)	109	48	2	59	39	5	28 371	28 232	
増減数(R2-H27)	2	△ 4	—	6	16	△ 13	△ 7 001	△ 6 805	
増減率(%) (R2-H27)/H27	1.9	△ 7.7	0.0	11.3	69.6	△ 72.2	△ 19.8	△ 19.4	
構成比(%)									
2015年(H.27)	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	98.5	97.6	
2020年(R.2)	0.4	0.2	0.0	0.2	0.1	0.0	97.8	97.3	

図3 法人化している経営体数の状況(農業経営体)



## (2) 経営耕地面積規模別経営体数

農業経営体を経営耕地面積規模別に見ると、0.5～1.0ha層が5,776経営体（農業経営体全体に占める割合19.9%）と一番多く、次いで1.0～1.5ha層が4,361経営体（同15.0%）となっている。

なお、経営体数は前回に比べると、20.0haを境界線として、0.3ha未満層を除き0.3ha～20.0ha層までの各層はすべて減少し、20.0ha層以上の各層ではすべて増加している。

表3 経営耕地面積規模別経営体数

単位：経営体

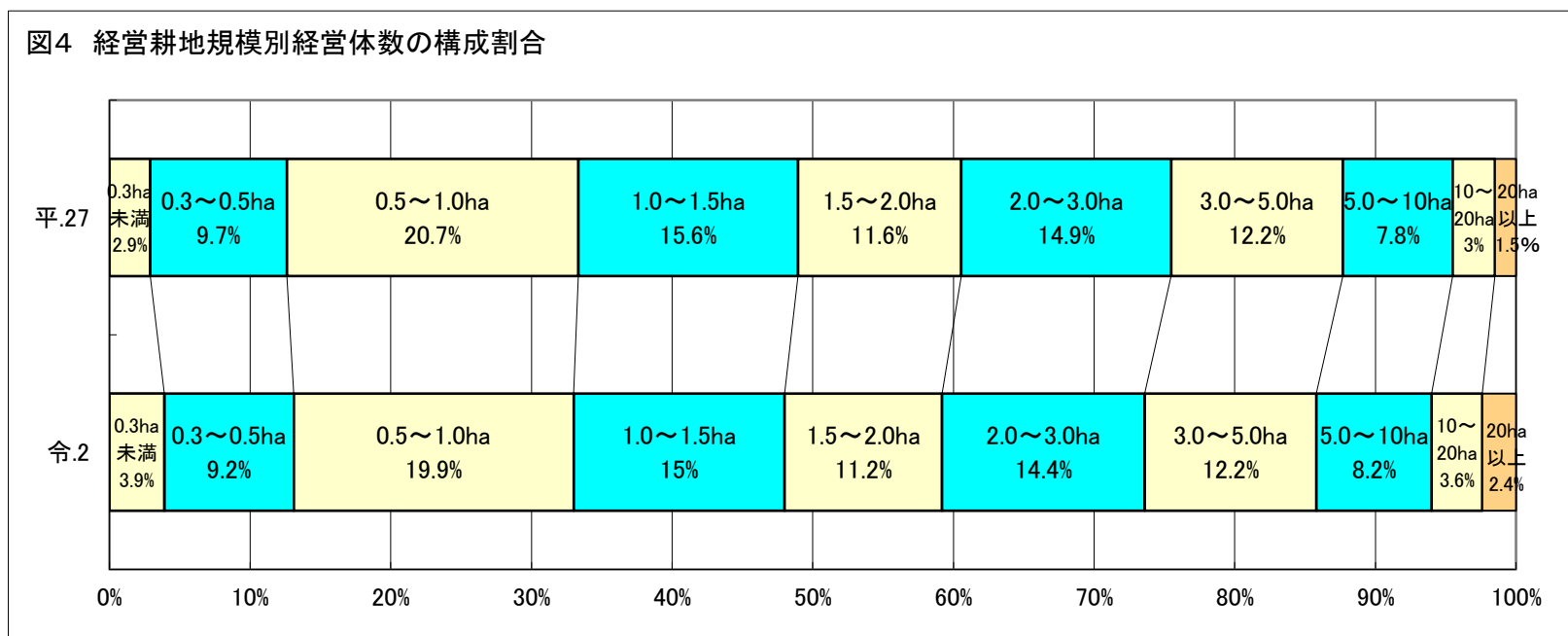
区分	計	経営耕地なし	0.3ha未満	0.3～0.5ha	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0
2015年(H.27)	35 914	471	581	3 495	7 449	5 600	4 166	5 344
2020年(R.2)	29 022	433	707	2 667	5 776	4 361	3 238	4 192
増減数 (R2-H27)	△ 6 892	△ 38	126	△ 828	△ 1 673	△ 1 239	△ 928	△ 1 152
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 19.2	△ 8.1	21.7	△ 23.7	△ 22.5	△ 22.1	△ 22.3	△ 21.6
構成比(%)								
2015年(H.27)	100.0	1.3	1.6	9.7	20.7	15.6	11.6	14.9
2020年(R.2)	100.0	1.5	2.4	9.2	19.9	15.0	11.2	14.4

(つづき)

単位：経営体

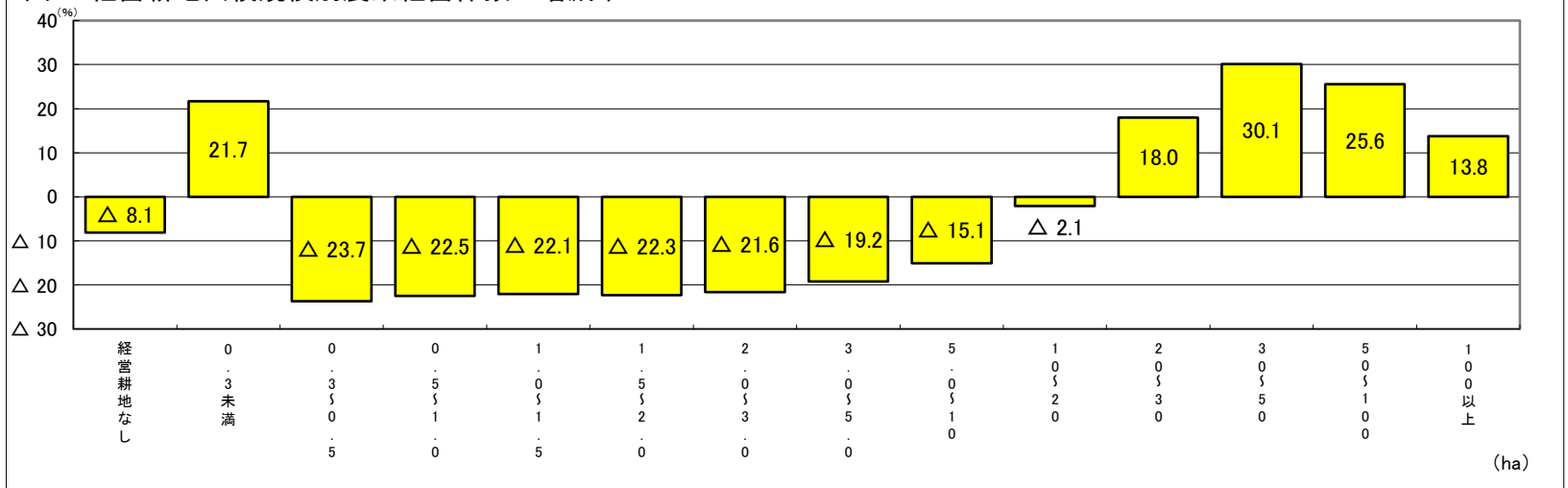
区分	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～100.0	100ha以上
2015年(H.27)	4 387	2 793	1 065	295	153	86	29
2020年(R.2)	3 546	2 371	1 043	348	199	108	33
増減数 (R2-H27)	△ 841	△ 422	△ 22	53	46	22	4
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 19.2	△ 15.1	△ 2.1	18.0	30.1	25.6	13.8
構成比(%)							
2015年(H.27)	12.2	7.8	3.0	0.8	0.4	0.2	0.1
2020年(R.2)	12.2	8.2	3.6	1.2	0.7	0.4	0.1

図4 経営耕地規模別経営体数の構成割合



(注) 「0.3ha未満」には「経営耕地なし」層を含む。

図5 経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率



### (3) 農産物販売金額規模別経営体数

農業経営体を農産物販売金額規模別にみると、100～300万円層が7,611経営体（全体に占める割合26.2%）と一番多く、次いで500～1,000万円層が5,298経営体（同18.3%）となっている。

なお、経営体数は前回に比べ、1,000万円以下の階層はすべて減少した一方、1,000以上の各層は、すべて増加している。

表4 農産物販売金額規模別経営体数

単位：経営体

区分	計	販売なし	50万円未満	50～100万円	100～300	300～500	500～1,000
2015年(H.27)	35,914	2,131	5,983	4,600	9,653	4,795	5,414
2020年(R.2)	29,022	1,201	2,952	3,385	7,611	4,594	5,298
増減数(R2-H27)	△6,892	△930	△3,031	△1,215	△2,042	△201	△116
増減率(%) (R2-H27)/H27	△19.2	△43.6	△50.7	△26.4	△21.2	△4.2	△2.1
構成比(%)							
2015年(H.27)	100.0	5.9	16.7	12.8	26.9	13.4	15.1
2020年(R.2)	100.0	4.1	10.2	11.7	26.2	15.8	18.3

(つづき)

単位：経営体

区分	1,000～3,000	3,000～5,000	5,000万～1億円	1～3	3～5	5億円以上
2015年(H.27)	2,762	314	131	79	11	41
2020年(R.2)	3,222	418	188	87	16	50
増減数(R2-H27)	460	104	57	8	5	9
増減率(%) (R2-H27)/H27	16.7	33.1	43.5	10.1	45.5	22.0
構成比(%)						
2015年(H.27)	7.7	0.9	0.4	0.2	0.0	0.1
2020年(R.2)	11.1	1.4	0.6	0.3	0.1	0.2

図6 農産物販売金額規模別農業経営体数の構成割合

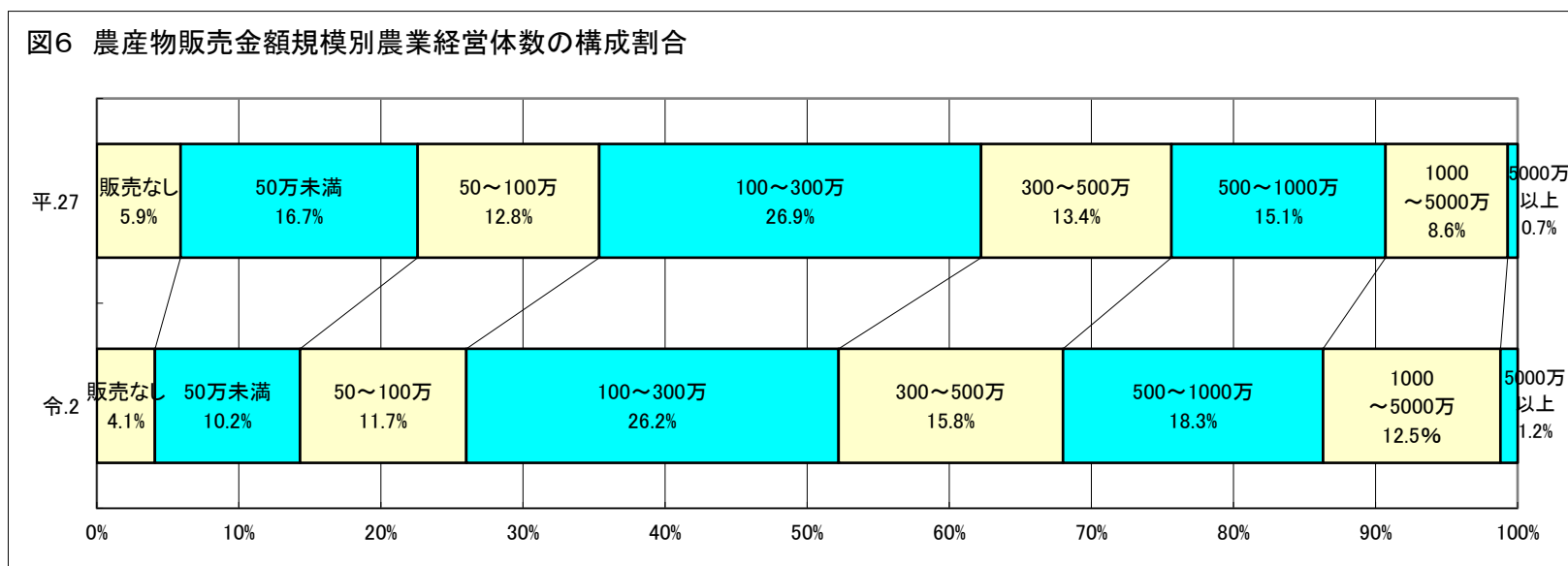
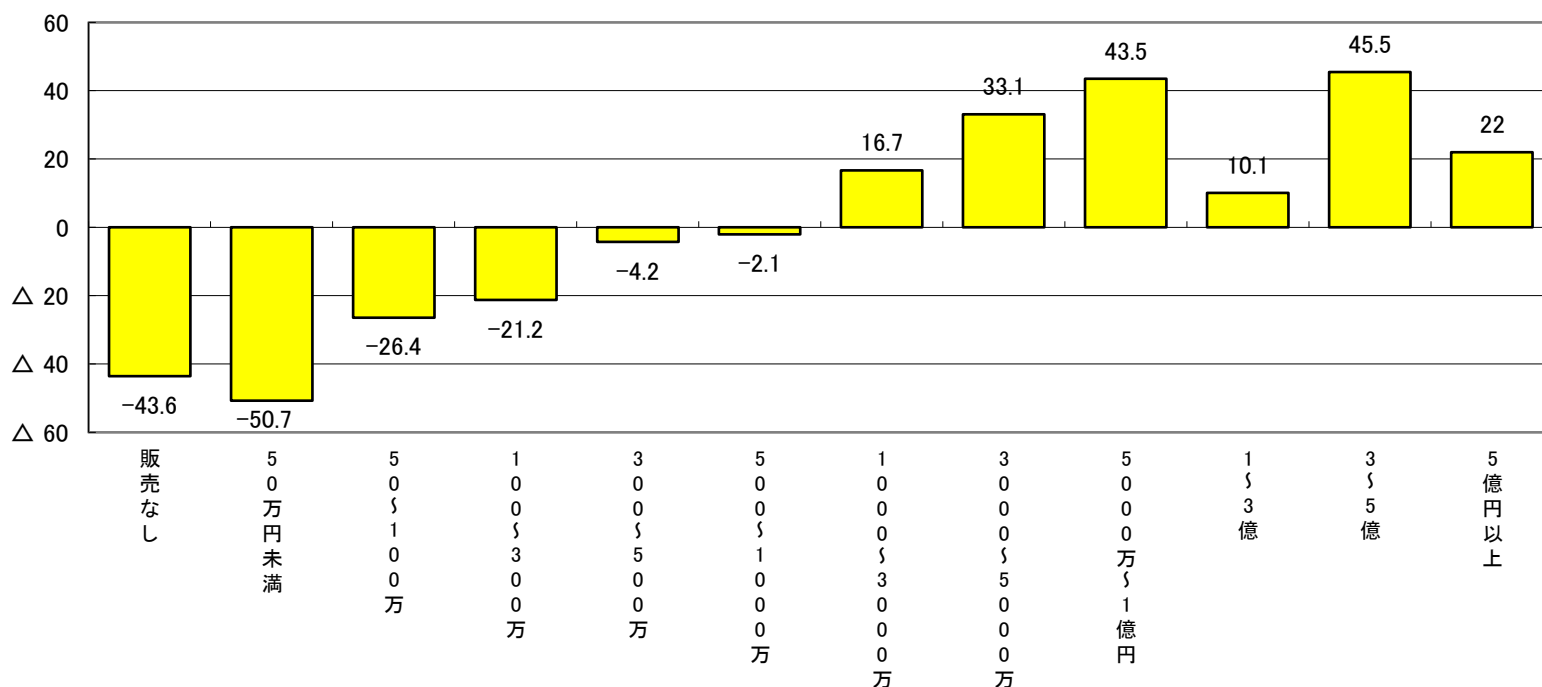


図7 農産物販売金額規模別経営体数の増減率



#### (4) 経営組織別経営体数

農業経営体のうち、農産物の販売のあった経営体数は27,821経営体で、前回に比べて17.6%減少した。

農業経営体を農業経営組織別にみると、単一経営が全体に占める割合は79.4%で、前回よりも2.1ポイント上昇し、準単一複合経営が全体に占める割合は20.6%で、前回よりも2.1ポイント下降し、複合経営が全体に占める割合は4.3%で、前回よりも0.3ポイント上昇した。

表5 農業経営組織別経営体数

単位：経営体

区分	販売のあった経営体数	単一経営経営体数							
		計	稲作	麦類作	雑穀・いも類・豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類
2015年(H.27)	33 783	26 105	10 912	17	287	549	2 970	288	10 251
2020年(R.2)	27 821	22 080	8 445	12	305	404	2 587	335	9 212
増減数(R2-H27)	△ 5 962	△ 4 025	△ 2 467	△ 5	18	△ 145	△ 383	47	△ 1 039
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 17.6	△ 15.4	△ 22.6	△ 29.4	6.3	△ 26.4	△ 12.9	16.3	△ 10.1
構成比(%)									
2015年(H.27)	100.0	77.3	32.3	0.1	0.8	1.6	8.8	0.9	30.3
2020年(R.2)	100.0	79.4	30.4	0.0	1.1	1.5	9.3	1.2	33.1

(つづき)

単位：経営体

区分	単一経営経営体数 (つづき)							
	花き・花木	その他の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	養蚕	その他の畜産
2015年(H.27)	106	98	179	318	53	52	—	25
2020年(R.2)	94	110	137	316	43	61	—	19
増減数(R2-H27)	△ 12	12	△ 42	△ 2	△ 10	9	—	△ 6
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 11.3	12.2	△ 23.5	△ 0.6	△ 18.9	17.3	—	△ 24.0
構成比(%)								
2015年(H.27)	0.3	0.3	0.5	0.9	0.2	0.2	…	0.1
2020年(R.2)	0.3	0.4	0.5	1.1	0.2	0.2	…	0.1

(つづき)

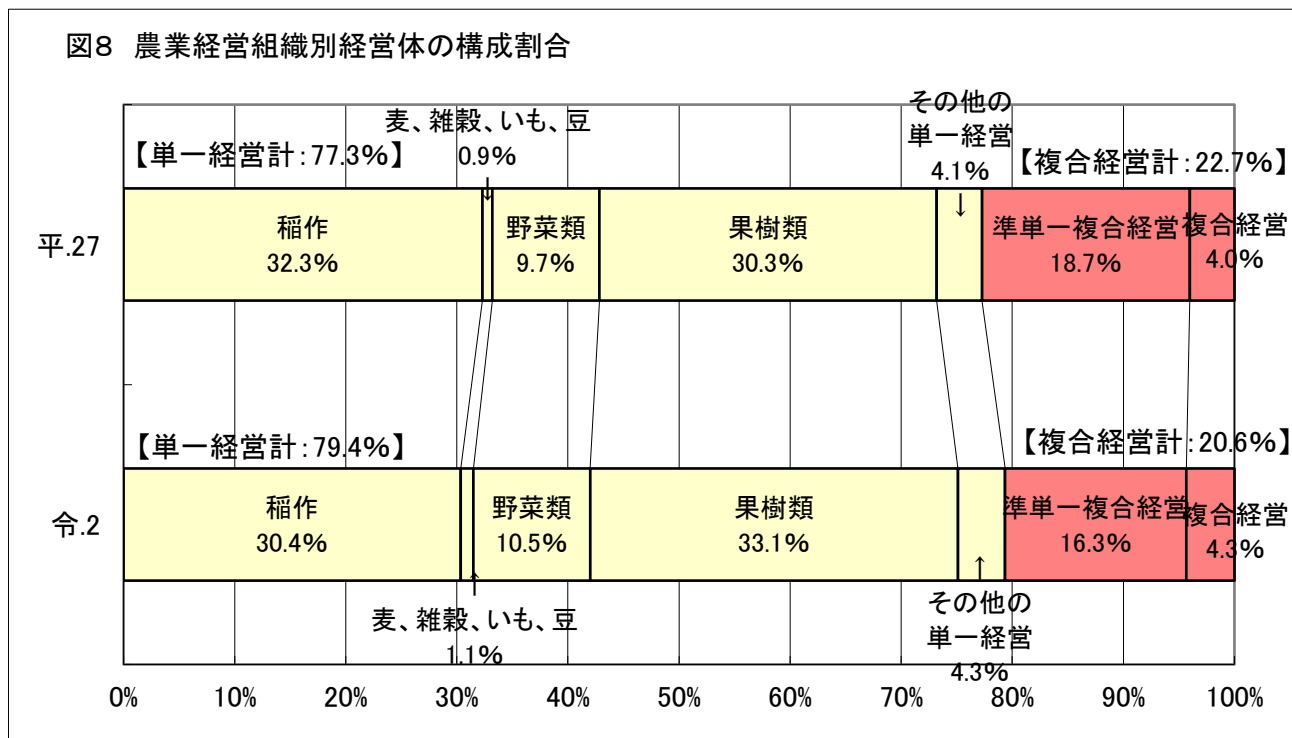
単位：経営体

区分	準単一経営及び複合経営経営体数		
	計	準単一複合経営(注1)	複合経営(注2)
2015年(H.27)	7 678	6 320	1 358
2020年(R.2)	5 741	4 537	1 204
増減数(R2-H27)	△ 1 937	△ 1 783	△ 154
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 25.2	△ 28.2	△ 11.3
構成比(%)			
2015年(H.27)	22.7	18.7	4.0
2020年(R.2)	20.6	16.3	4.3

(注1) 主位部門の販売金額が6割以上8割未満の経営体

(注2) 主位部門の販売金額が6割未満の経営体

図8 農業経営組織別経営体の構成割合



## (5) 経営耕地の状況

農業経営体の経営耕地総面積は99,535haで、前回に比べ8.1%減少した。

耕地種類別にみると、田が55,198ha（経営耕地面積全体に占める割合55.5%）で、前回に比べ11.1%、樹園地が14,824ha（同14.9%）で前回に比べ10.7%、畑が29,514ha（同29.7%）で、前回に比べ0.3%、それぞれ減少した。

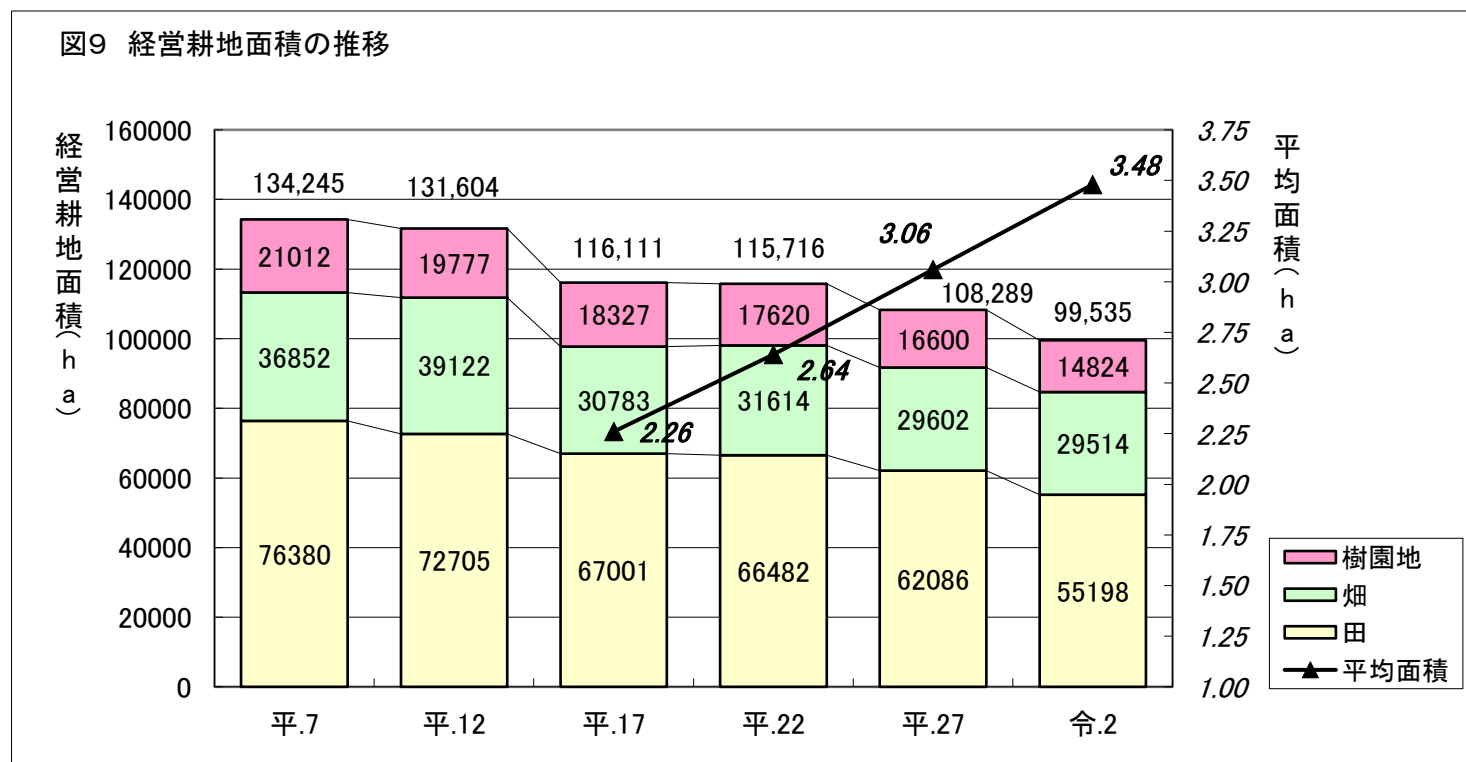
また、1経営体当たりの経営耕地面積は3.48haで、前回よりも0.42ha増加した。

表6 経営耕地面積（農業経営体）

単位：経営体、ha

区分	経営耕地のある経営体数	経営耕地総面積	田		畑（樹園地を除く）		樹園地		1経営体当たり経営耕地面積
			田のある経営体数	面積計	畑のある経営体数	面積計	樹園地のある経営体数	面積計	
2015年(H.27)	35,443	108,289	27,739	62,086	14,976	29,602	14,773	16,600	3.06
2020年(R.2)	28,589	99,535	19,524	55,198	11,068	29,514	12,125	14,824	3.48
増減数(R2-H27)	△6,854	△8,754	△8,215	△6,888	△3,908	△88	△2,648	△1,776	0.42
増減率(%) (R2-H27)/H27	△19.3	△8.1	△29.6	△11.1	△26.1	△0.3	△17.9	△10.7	13.8
構成比(%)									
2015年(H.27)	100.0	100.0	78.3	57.3	42.3	27.3	41.7	15.3	
2020年(R.2)	100.0	100.0	68.3	55.5	38.7	29.7	42.4	14.9	

図9 経営耕地面積の推移



注：平.12以前の経営耕地面積は、「販売農家にかかる面積」と「農家以外の農業事業者にかかる面積」の合計であるため、平.12以前と平.17以後については直接比較ができない。



## (6) 経営耕地面積の集積割合

農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合をみると、経営耕地面積5ha以上の農業経営体に集積された経営耕地面積の、総面積に占める割合は60.7%となり、前回(54.0%)よりも6.7ポイント上昇した。

表7 経営耕地面積規模別経営耕地面積

単位：ha

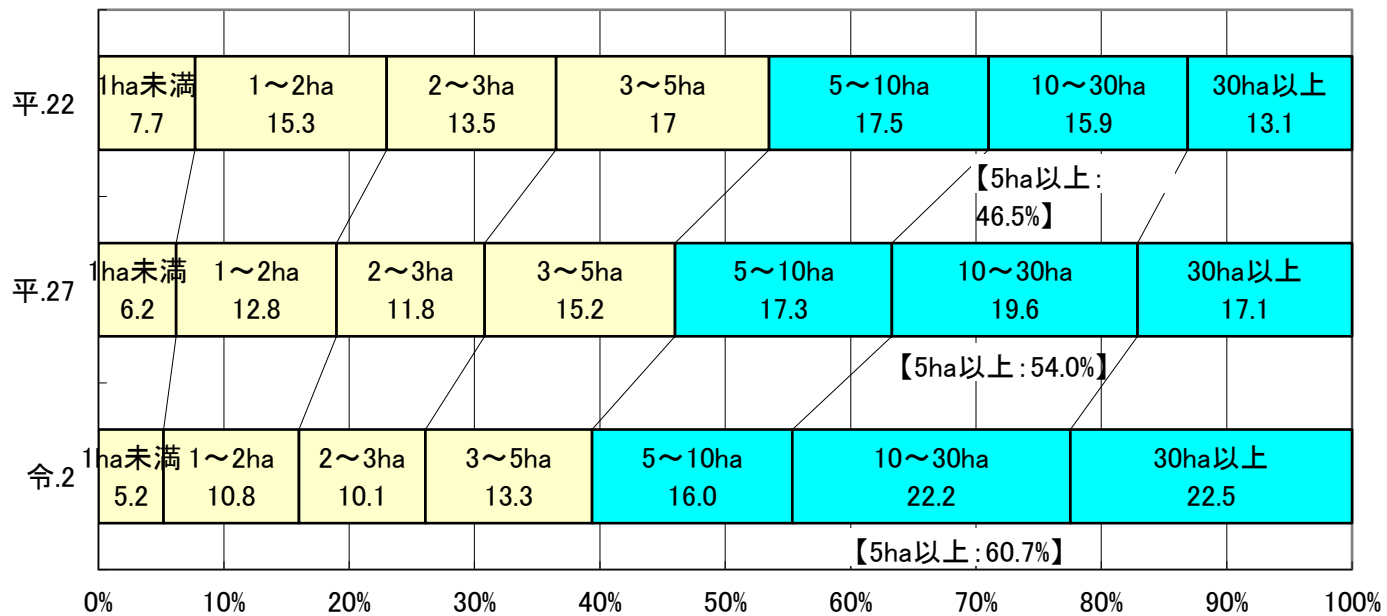
区分	計	0.3ha未満	0.3～0.5ha	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0
2015年(H.27)	108 289	113	1 320	5 280	6 758	7 096	12 832
2020年(R.2)	99 535	138	1 003	4 068	5 232	5 479	10 032
増減数 (R2-H27)	△ 8 754	25	△ 317	△ 1 212	△ 1 526	△ 1 617	△ 2 800
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 8.1	22.1	△ 24.0	△ 23.0	△ 22.6	△ 22.8	△ 21.8
構成比(%)							
2015年(H.27)	100.0	0.1	1.2	4.9	6.2	6.6	11.8
2020年(R.2)	100.0	0.1	1.0	4.1	5.3	5.5	10.1

(つづき)

単位：ha

区分	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～100.0	100ha以上
2015年(H.27)	16 465	18 774	14 170	6 986	5 711	5 735	7 048
2020年(R.2)	13 264	15 878	13 934	8 152	7 143	7 332	7 881
増減数 (R2-H27)	△ 3 201	△ 2 896	△ 236	1 166	1 432	1 597	833
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 19.4	△ 15.4	△ 1.7	16.7	25.1	27.8	11.8
構成比(%)							
2015年(H.27)	15.2	17.3	13.1	6.5	5.3	5.3	6.5
2020年(R.2)	13.3	16.0	14.0	8.2	7.2	7.4	7.9

図10 経営耕地面積規模別の経営耕地面積集積割合



## (7) 農業労働力

### 雇用労働の状況

農業経営体のうち、雇用者を受け入れた経営体数は8,483経営体（農業経営体全体に占める割合29.2%）で、前回に比べ46.4%減少した。また、過去1年間に農業経営のために雇用された実人数は69,012人となった。

このうち、常雇い（あらかじめ年間7か月以上の契約で雇われた者）を受け入れた経営体数は1,009経営体（前年比42.4%減）、その実人数は3,820人（同30.0%減）となった。

表8 雇用者の状況

単位：経営体、人、人日

区分	計			常雇い			臨時雇い		
	雇い入れた実経営体数	実人数	のべ人日	雇い入れた実経営体数	実人数	のべ人日	雇い入れた実経営体数	実人数	のべ人日
2015年(H.27)	15 814	109 970	2830 448	1 753	5 457	1123 216	15 243	104 513	1707 232
2020年(R.2)	8 483	69 012	2063 214	1 009	3 820	786 271	8 180	65 192	1276 943
増減数 (R2-H27)	△ 7 331	△ 40 958	△ 767 234	△ 744	△ 1 637	△ 336 945	△ 7 063	△ 39 321	△ 430 289
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 46.4	△ 37.2	△ 27.1	△ 42.4	△ 30.0	△ 30.0	△ 46.3	△ 37.6	△ 25.2

## (8) 農産物の生産

### ア 販売目的で作付け（栽培）した作物の類別作付（栽培）経営体数

販売目的で露地に作物を作付け（栽培）した農業経営体数は27,586経営体で、前回に比べ17.8%減少した。

作物類別では、その他の作物が1,404経営体で、前回に比べ2.4%増加した他は、すべての作物において減少し、中でもいも類（前回比49.9%減）、麦類（同40.9%減）、雑穀（同39.1%減）等が大きく減少した。

表9 販売目的で作付け（栽培）した作物の類別経営体数

単位：経営体

区分	作付（栽培） 実経営体数	類別作付（栽培）経営体数					
		稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸農作物
2015年(H.27)	33 541	23 570	506	914	1 001	1 997	950
2020年(R.2)	27 586	17 615	299	557	502	1 514	836
増減数 (R2-H27)	△ 5 955	△ 5 955	△ 207	△ 357	△ 499	△ 483	△ 114
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 17.8	△ 25.3	△ 40.9	△ 39.1	△ 49.9	△ 24.2	△ 12.0
構成比(%)							
2015年(H.27)	100.0	70.3	1.5	2.7	3.0	6.0	2.8
2020年(R.2)	100.0	63.9	1.1	2.0	1.8	5.5	3.0

### (つづき)

単位：経営体

区分	類別作付（栽培）経営体数（つづき）			
	野菜類	花き類 ・花木	果樹	その他の 作物
2015年(H.27)	9 204	557	14 492	1 371
2020年(R.2)	7 439	394	12 104	1 404
増減数 (R2-H27)	△ 1 765	△ 163	△ 2 388	33
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 19.2	△ 29.3	△ 16.5	2.4
構成比(%)				
2015年(H.27)	27.4	1.7	43.2	4.1
2020年(R.2)	27.0	1.4	43.9	5.1

## イ 販売目的で栽培した果樹の品目別栽培経営体数

販売目的で果樹（露地）を栽培した農業経営体数は12,104経営体で、前回に比べ16.5%減少した。

このうち、りんごを栽培した経営体数は11,464経営体、うめを栽培した経営体数は435経営体、おうとうを栽培した経営体は408経営体で、前回に比べ、それぞれ16.7%、31.0%、24.7%減少した。

表10 販売目的で栽培した果樹の品目別経営体数

単位：経営体

区分	実経営体数	果樹品目別							
		りんご	ぶどう	日本なし	もも	おうとう	かき	くり	うめ
2015年(H.27)	14 492	13 757	523	173	486	542	57	103	630
2020年(R.2)	12 104	11 464	423	110	406	408	47	39	435
増減数 (R2-H27)	△ 2 388	△ 2 293	△ 100	△ 63	△ 80	△ 134	△ 10	△ 64	△ 195
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 16.5	△ 16.7	△ 19.1	△ 36.4	△ 16.5	△ 24.7	△ 17.5	△ 62.1	△ 31.0
構成比(%)									
2015年(H.27)	100.0	94.9	3.6	1.2	3.4	3.7	0.4	0.7	4.3
2020年(R.2)	100.0	94.7	3.5	0.9	3.4	3.4	0.4	0.3	3.6

## ウ 耕地以外で利用した土地及びハウス・ガラス室

山林、原野等の耕地以外の土地で、過去1年間に採草地や放牧地として利用した経営体数は531経営体（前回比16.8%減）で、利用した土地の総面積は167,919a（同30.5%減）となった。

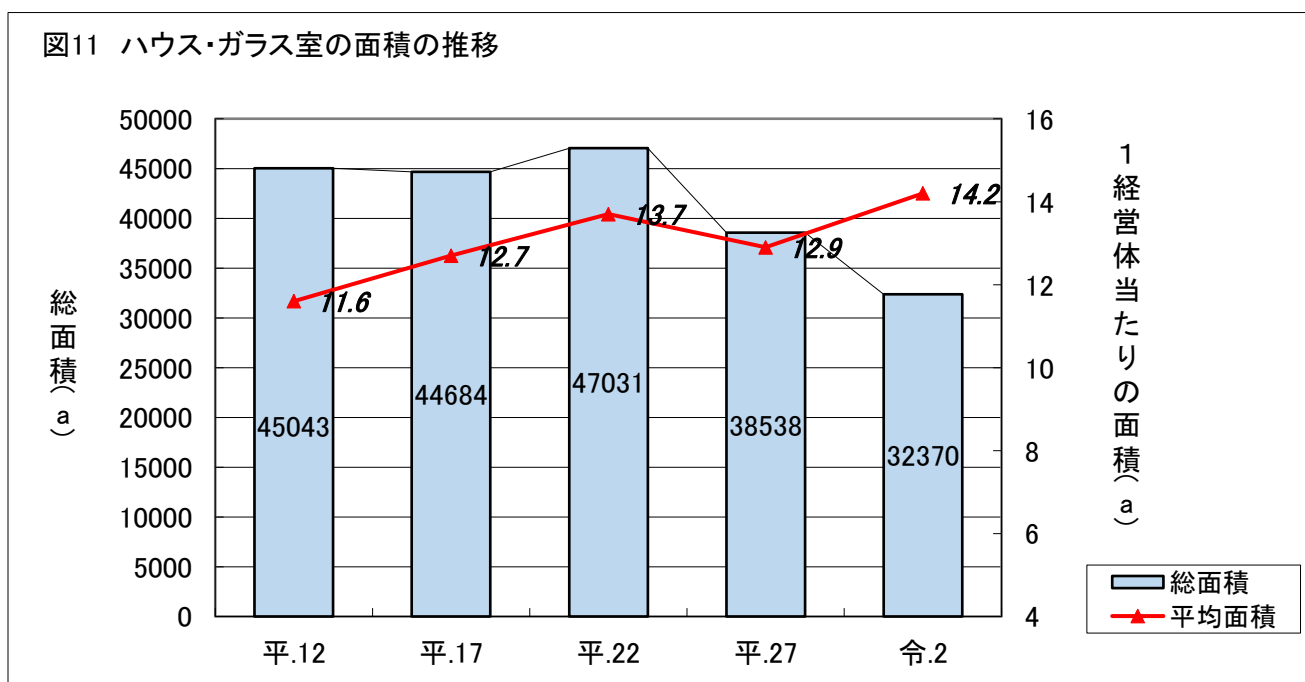
また、過去1年間に施設園芸のためにハウス・ガラス室を利用した経営体数は2,272経営体（同23.8%減）で、利用したハウス・ガラス室の総面積は32,370a（同16.0%減）となった。

表11 耕地以外で利用した土地及びハウス・ガラス室

単位：経営体、a

区分	山林、原野等で過去1年間に利用した土地		施設園芸に利用したハウス・ガラス室	
	経営体数	面積	経営体数	面積
2015年(H.27)	638	241 677	2 982	38 538
2020年(R.2)	531	167 919	2 272	32 370
増減数 (R2-H27)	△ 107	△ 73 758	△ 710	△ 6 168
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 16.8	△ 30.5	△ 23.8	△ 16.0

図11 ハウス・ガラス室の面積の推移



注：平.12以前のハウス・ガラス室の面積は、「販売農家にかかる面積」と「農家以外の農業事業体にかかる面積」の合計であるため、平.12以前と平.17以後については直接比較ができない。

## エ 家畜等を販売目的で飼養している経営体数及び飼養頭羽数

家畜等を販売目的で飼養している経営体数をみると、ブロイラーが前回は18.9%と増加した以外は、乳用牛（前回は31.9%減）、採卵鶏（同25.6%減）、肉用牛（同19.3%減）と減少している。

なお、飼養頭羽数では、採卵鶏（前回は20.5%増）と増加した以外は、豚（前回は24.2%減）、乳用牛（同20.4%減）、肉用牛（同17.6%減）と減少している。

表12 家畜等を販売目的で飼養している経営体数及び飼養頭羽数

単位：経営体、頭、羽

区分	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養羽数(100羽)
2015年(H.27)	254	15 644	872	56 435	66	289 286	43	49 291
2020年(R.2)	173	12 453	704	46 509	55	219 155	32	59 413
増減数(R2-H27)	△ 81	△ 3 191	△ 168	△ 9 926	△ 11	△ 70 131	△ 11	10 122
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 31.9	△ 20.4	△ 19.3	△ 17.6	△ 16.7	△ 24.2	△ 25.6	20.5

(つづき)

単位：経営体、頭、羽

区分	ブロイラー		栽培きのこ、その他の家畜等の農業経営を行っている経営体数
	出荷した経営体数	出荷羽数(100羽)	
2015年(H.27)	37	391 080	145
2020年(R.2)	44	335 096	122
増減数(R2-H27)	7	△ 55 984	△ 23
増減率(%) (R2-H27)/H27	18.9	△ 14.3	△ 15.9

## (9) 農産物の販売

過去1年間の販売金額が1位となった農産物は、果樹類が10,847経営体(販売のあった経営体全体に占める割合39.0%)で最も多く、次いで稲作が10,370経営体(同37.3%)、露地野菜が3,821経営体(同13.7%)となっている。

表13 農産物販売金額1位の部門別経営体数

単位：経営体

区分	計	稲作	麦類作	雑穀・ いも類・ 豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・ 花木
2015年(H.27)	33 783	13 161	24	468	800	4 692	735	12 692	196
2020年(R.2)	27 821	10 370	15	487	568	3 821	670	10 847	156
増減数(R2-H27)	△ 5 962	△ 2 791	△ 9	19	△ 232	△ 871	△ 65	△ 1 845	△ 40
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 17.6	△ 21.2	△ 37.5	4.1	△ 29.0	△ 18.6	△ 8.8	△ 14.5	△ 20.4
構成比(%)									
2015年(H.27)	100.0	39.0	0.1	1.4	2.4	13.9	2.2	37.6	0.6
2020年(R.2)	100.0	37.3	0.1	1.8	2.0	13.7	2.4	39.0	0.6

(つづき)

単位：経営体

区分	その他の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	養蚕	その他の畜産
2015年(H.27)	158	210	498	61	55	—	33
2020年(R.2)	172	158	423	46	64	—	24
増減数(R2-H27)	14	△ 52	△ 75	△ 15	9	—	△ 9
増減率(%) (R2-H27)/H27	8.9	△ 24.8	△ 15.1	△ 24.6	16.4	—	△ 27.3
構成比(%)							
2015年(H.27)	0.5	0.6	1.5	0.2	0.2	0.0	0.1
2020年(R.2)	0.6	0.6	1.5	0.2	0.2	0.0	0.1

## (10) 農産物の出荷先

農産物の出荷先別に農業経営体数をみると、農協が19,947経営体でもっとも多く、次いで卸売市場が9,648経営体となったが、これらは前回に比べ、17.3%、13.5%、それぞれ減少した。一方、消費者に直接販売のうちインターネットによる販売が292経営体で、前回に比べ8.1%増加した。

また、農産物の販売金額1位の出荷先についてみると、もっとも多い農協が16,386経営体で、前回に比べ17.7%減少しており、他の出荷先についてもすべて減少している。

表14 農産物出荷先別経営体数

単位：経営体

区 分	計	農産物の販売なし	農産物を販売した実経営体数	農産物の出荷先別				
				農協	農協以外の集出荷団体	卸売市場	小売業者	食品製造業・外食産業
2015年(H.27)	35 914	2 131	33 783	24 127	5 531	11 158	2 677	785
2020年(R.2)	29 022	1 201	27 821	19 947	4 699	9 648	2 454	704
増減数(R2-H27)	△ 6 892	△ 930	△ 5 962	△ 4 180	△ 832	△ 1 510	△ 223	△ 81
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 19.2	△ 43.6	△ 17.6	△ 17.3	△ 15.0	△ 13.5	△ 8.3	△ 10.3
構成比(%)			100.0	71.4	16.4	33.0	7.9	2.3
2020年(R.2)			100.0	71.7	16.9	34.7	8.8	2.5

(つづき)

単位：経営体

区 分	農産物の出荷先別 (つづき)		
	消費者に直接販売	インターネットによる販売	その他
2015年(H.27)	2 690	270	1 219
2020年(R.2)	2 586	292	1 080
増減数(R2-H27)	△ 104	22	△ 139
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 3.9	8.1	△ 11.4
構成比(%)			
2015年(H.27)	8.0	0.8	3.6
2020年(R.2)	9.3	1.0	3.9

表15 農産物販売金額1位の出荷先別経営体数

単位：経営体

区 分	農産物の販売のあった経営体	農産物販売金額1位の出荷先別						
		農協	農協以外の集出荷団体	卸売市場	小売業者	食品製造業・外食産業	消費者に直接販売	その他
2015年(H.27)	33 783	19 906	3 668	6 899	1 459	532	820	499
2020年(R.2)	27 821	16 386	2 977	5 706	1 231	311	726	484
増減数(R2-H27)	△ 5 962	△ 3 520	△ 691	△ 1 193	△ 228	△ 221	△ 94	△ 15
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 17.6	△ 17.7	△ 18.8	△ 17.3	△ 15.6	△ 41.5	△ 11.5	△ 3.0
構成比(%)								
2015年(H.27)	100.0	58.9	10.9	20.4	4.3	1.6	2.4	1.5
2020年(R.2)	100.0	58.9	10.7	20.5	4.4	1.1	2.6	1.7

図12 農産物の出荷先の状況

(経営体)

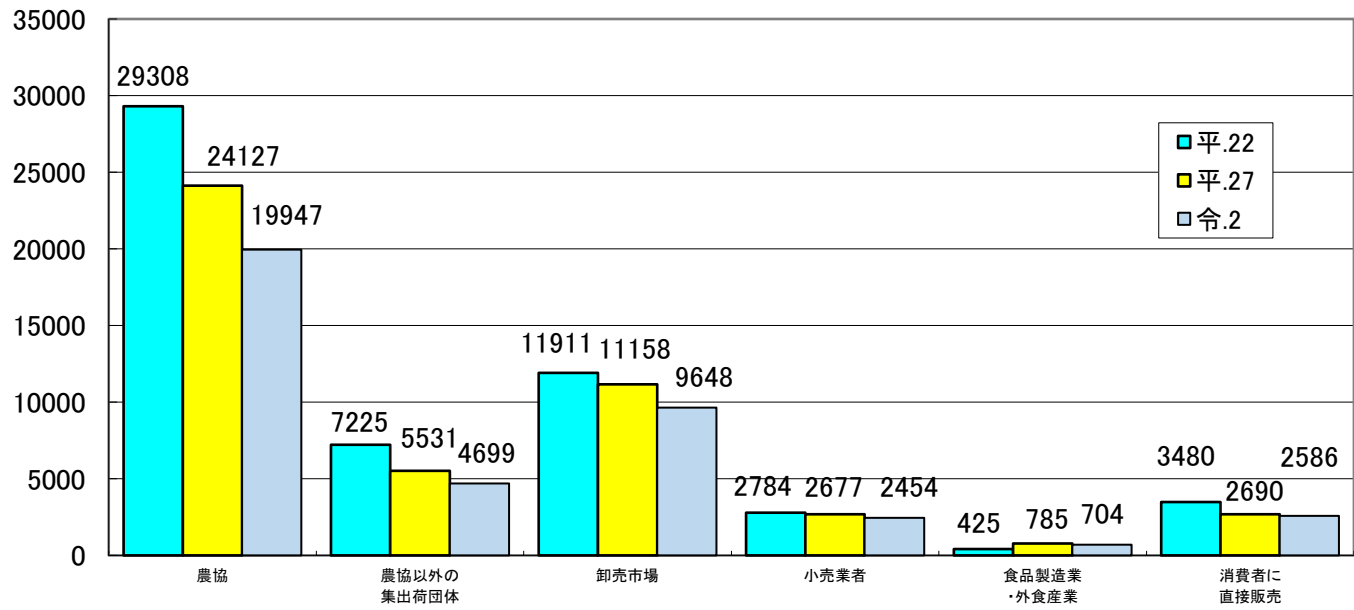
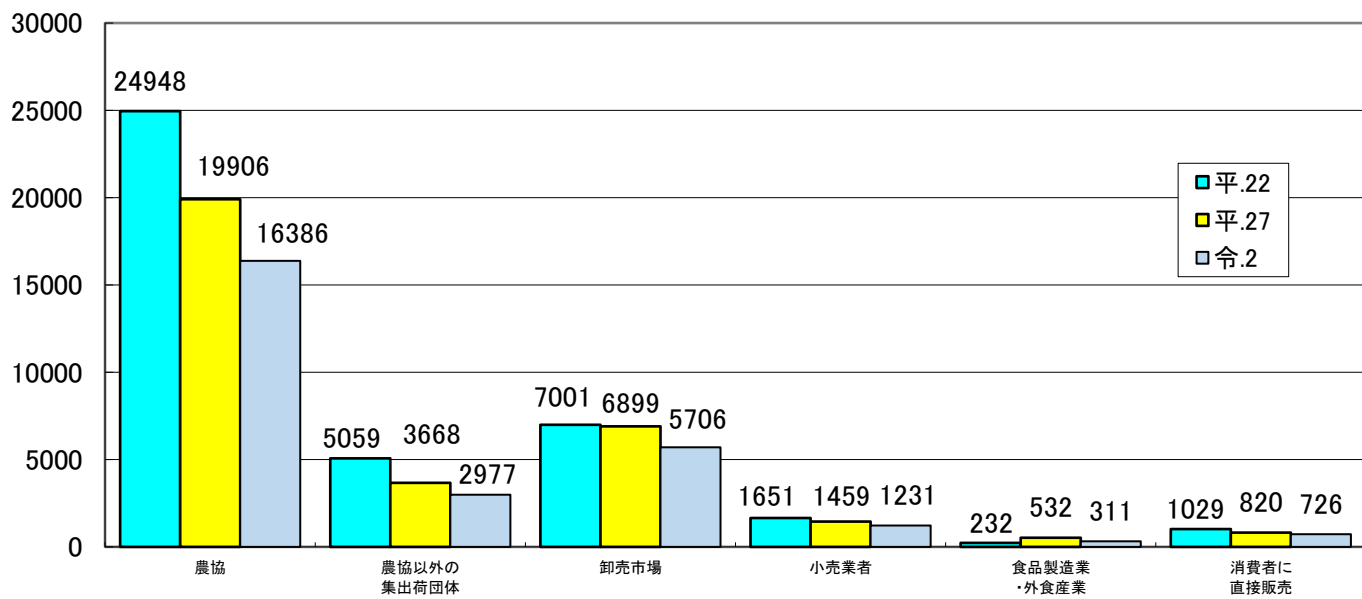


図13 農産物売上1位の出荷先の状況

(経営体)



## (11) 農業経営の特徴

### ア 青色申告を行っている農業経営体数

青色申告を行っている農業経営体数は10,732経営体で、農業経営体に占める割合は37.0%となった。このうち、正規の簿記を行っている農業経営体数は5,491経営体で、農業経営体に占める割合は18.9%となった。

表16 青色申告を行っている農業経営体数 単位：経営体

区分	計	青色申告を行っている経営体				青色申告を行っていない経営体
		小計	正規の簿記	簡易簿記	現金主義	
総数	29 022	10 732	5 491	4 552	689	18 290
個人経営体	28 232	10 257	5 018	4 550	689	17 975
団体経営体	790	475	473	2	—	315
構成比 (%)						
総数	100.0	37.0	18.9	15.7	2.4	63.0
個人経営体	100.0	36.3	17.8	16.1	2.4	63.7
団体経営体	100.0	60.1	59.9	0.3	0.0	39.9

※2020年新規調査項目

### イ データを活用した農業を行っている経営体数

データを活用した農業を行っている農業経営体数は5,542経営体で、農業経営体に占める割合は19.1%となった。また、団体経営体についてみると、データを活用した農業を行っている農業経営体数は335経営体で、農業経営体に占める割合は42.4%となった。

表17 データを活用した農業を行っている経営体数 単位：経営体

区分	計	データを活用した農業を行っている農業経営体数				データを活用した農業を行っていない経営体
		小計	データを取得して活用	データを取得・記録して活用	データを取得・分析して活用	
総数	29 022	5 542	4 038	1 230	274	23 480
個人経営体	28 232	5 207	3 872	1 099	236	23 025
団体経営体	790	335	166	131	38	455
構成比 (%)						
総数	100.0	19.1	13.9	4.2	0.9	80.9
個人経営体	100.0	18.4	13.7	3.9	0.8	81.6
団体経営体	100.0	42.4	21.0	16.6	4.8	57.6

※2020年新規調査項目

## (12) 主副業別農業経営体数（個人経営体）

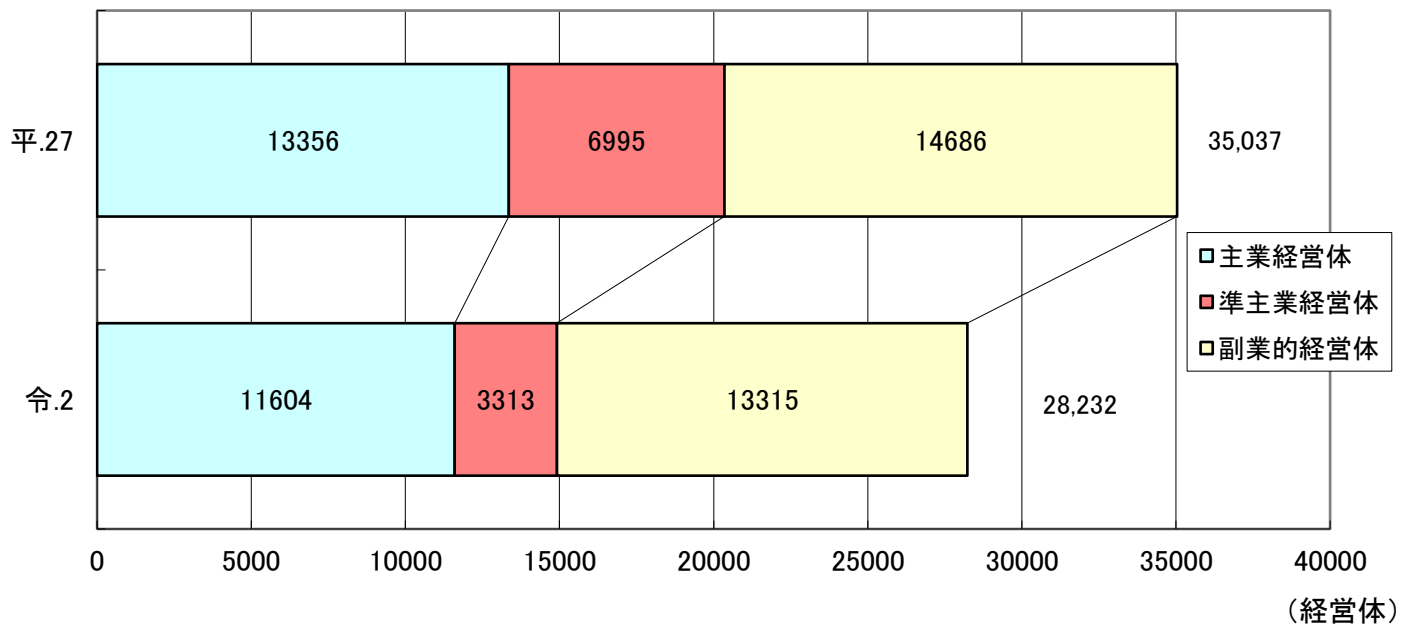
農業経営体のうち個人経営体を主副業別にみると、主業経営体は11,604戸（個人経営体全体に占める割合41.1%）で、前回に比べ13.1%、準主業経営体は3,313戸（同11.7%）で、前回に比べ52.6%、副業的経営体は13,315戸（同47.2%）で、前回に比べ9.3%、それぞれ減少した。

表18 主副業別農業経営体数（個人経営体）

単位：経営体

区 分	計	主業		準主業		副業的
			65歳未満の農業 専従者がいる		65歳未満の農業 専従者がいる	
2015年(H.27)	35 037	13 356	12 020	6 995	3 613	14 686
2020年(R.2)	28 232	11 604	10 387	3 313	1 503	13 315
増減数 (R2-H27)	△ 6 805	△ 1 752	△ 1 633	△ 3 682	△ 2 110	△ 1 371
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 19.4	△ 13.1	△ 13.6	△ 52.6	△ 58.4	△ 9.3
構成比(%)						
2015年(H.27)	100.0	38.1	34.3	20.0	10.3	41.9
2020年(R.2)	100.0	41.1	36.8	11.7	5.3	47.2

図14 主副業別農業経営体数（個人経営体）の推移



※ 「主副業別農業経営体数（個人経営体）」は、2020年からの調査項目のため、前回と直接比較できないが、概数値公表時に農林水産省から提供された、2015年の数値を用いた。



**(13) 基幹的農業従事者数（個人経営体）**

農業経営体のうち個人経営体の基幹的農業従事者数（仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員）は48,083人で、前回に比べ17.6%減少した。男女別でみると、男性は26,576人で、前回に比べ14.5%、女性は21,507人で、前回に比べ21.1%、それぞれ減少した。

年齢階層別にみると、70～74歳層及び85歳以上層以外の各層で減少し、中でも55～59歳層（前回比35.6%減）、50～54歳層（同34.1%減）、60～64歳層（同33.3%減）の減少が目立った。一方、85歳以上層（同34.7%増）は大幅に増加した。

また、年齢階層別の構成割合をみると、65歳以上が全体に占める割合は61.0%となり、前回よりも6.3ポイント上昇した。

表19 年齢別基幹的農業従事者数（個人経営体）

単位：人、歳

区 分	男女計	年齢階層別						
		男	女	15～29歳	30～34	35～39	40～44	45～49
2015年(H.27)	58 339	31 076	27 263	1 072	1 163	1 369	1 658	2 309
2020年(R.2)	48 083	26 576	21 507	725	923	1 360	1 539	1 844
増減数 (R2-H27)	△ 10 256	△ 4 500	△ 5 756	△ 347	△ 240	△ 9	△ 119	△ 465
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 17.6	△ 14.5	△ 21.1	△ 32.4	△ 20.6	△ 0.7	△ 7.2	△ 20.1
構成比(%)								
2015年(H.27)	100.0	53.3	46.7	1.8	2.0	2.3	2.8	4.0
2020年(R.2)	100.0	55.3	44.7	1.5	1.9	2.8	3.2	3.8

(つづき)

単位：人、歳

区 分	年齢階層別（つづき）							
	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85歳以上
2015年(H.27)	3 722	5 904	9 160	9 751	8 272	7 699	4 691	1 569
2020年(R.2)	2 454	3 801	6 111	8 894	8 347	5 818	4 154	2 113
増減数 (R2-H27)	△ 1 268	△ 2 103	△ 3 049	△ 857	75	△ 1 881	△ 537	544
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 34.1	△ 35.6	△ 33.3	△ 8.8	0.9	△ 24.4	△ 11.4	34.7
構成比(%)								
2015年(H.27)	6.4	10.1	15.7	16.7	14.2	13.2	8.0	2.7
2020年(R.2)	5.1	7.9	12.7	18.5	17.4	12.1	8.6	4.4

(つづき)

単位：人、歳

区 分	平均年齢		
	男女計	男	女
2015年(H.27)	64.3	63.5	65.2
2020年(R.2)	65.4	64.3	66.7
増減数 (R2-H27)	1.1	0.8	1.5
増減率(%) (R2-H27)/H27	-	-	-

図15 基幹的農業従事者数(個人経営体)及び平均年齢の推移

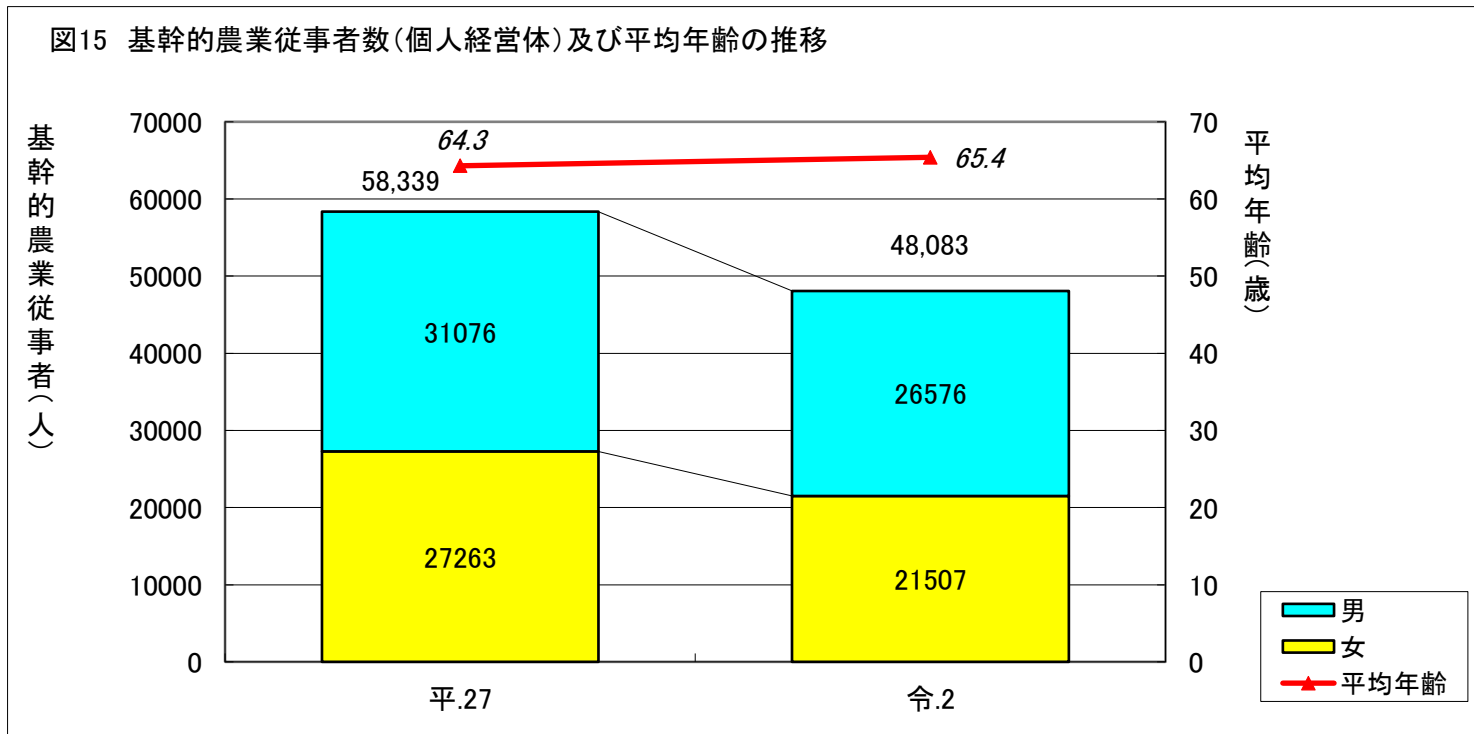


図16 基幹的農業従事者(個人経営体)年齢階層別増減率

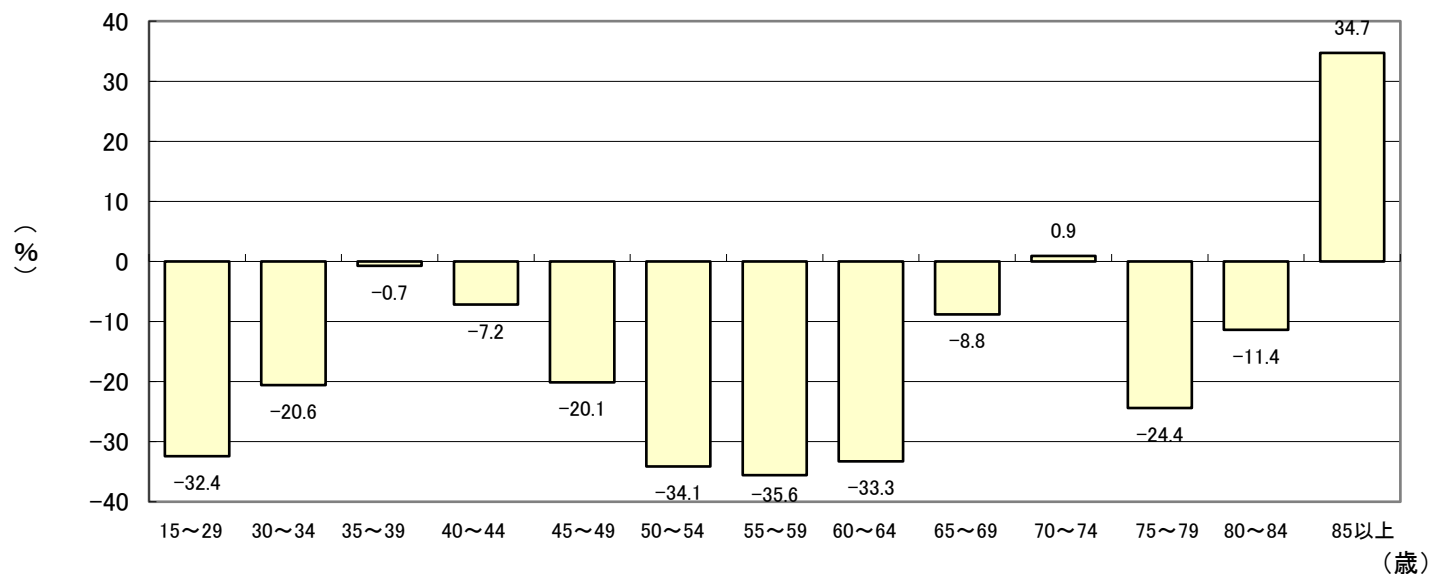
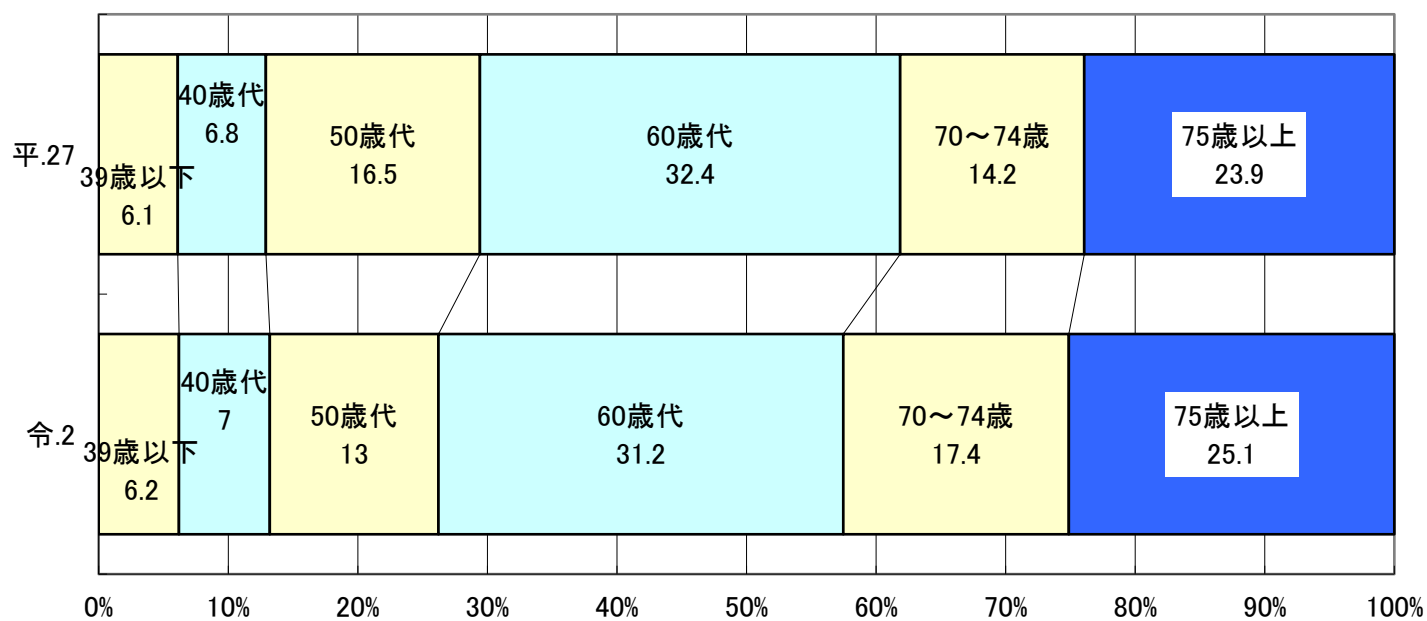


図17 基幹的農業従事者(個人経営体)年齢階層別構成割合の推移



※ 「基幹的農業従事者数(個人経営体)」は、2020年からの調査項目のため、前回と直接比較できないが、概数値公表時に農林水産省から提供された、2015年の数値を用いた。

(14) 都道府県設定項目

今後1年間で確保したいと考えている農業労働力の従事日数は、292経営体、合計121,896人日で、1経営体当たりの農業労働力の従事日数は417.5人日となった。

乗用型スピードスプレーヤーを所有している経営体数は230経営体、所有台数は358台となった。

米麦用乾燥機を所有している経営体数は131経営体、所有台数は560台となった。

過去1年間に販売を目的としてにんにくの作付を行った経営体数は88経営体、作付面積は22,264aで、1経営体当たりの作付面積は253.0aとなった。

過去1年間に販売を目的としてごぼうの作付を行った経営体数は44経営体、作付面積は32,046aで、1経営体当たりの作付面積は728.3aとなった。

表20 都道府県設定項目

単位：経営体、人日、台

区 分	確保したい農業労働力の従事日数			「乗用型スピードスプレーヤー」の 所有台数			「米麦用乾燥機」の所有台数		
	経営体数	人日	1経営体当たり人日	経営体数	台数	1経営体当たり台数	経営体数	台数	1経営体当たり台数
2020年(R.2)	292	121 896	417.5	230	358	1.6	131	560	4.3

(つづき)

単位：経営体、a

区 分	にんにくの作付面積			ごぼうの作付面積		
	経営体数	面積(a)	1経営体当たり面積	経営体数	面積(a)	1経営体当たり面積
2020年(R.2)	88	22 264	253.0	44	32 046	728.3

### 3 林業経営体

#### (1) 組織形態別経営体数

林業経営体を組織形態別にみると、法人化している経営体は117経営体で、前回に比べ17.0%減少した。また、法人化している経営体の林業経営体全体に占める割合は17.3%となり、前回(6.8%)より10.5ポイント上昇した。

このうち、その他の各種団体が14経営体で、前回に比べ51.7%減少し、会社は68経営体で、前回と同数であった。

表21 組織形態別経営体数

単位：経営体

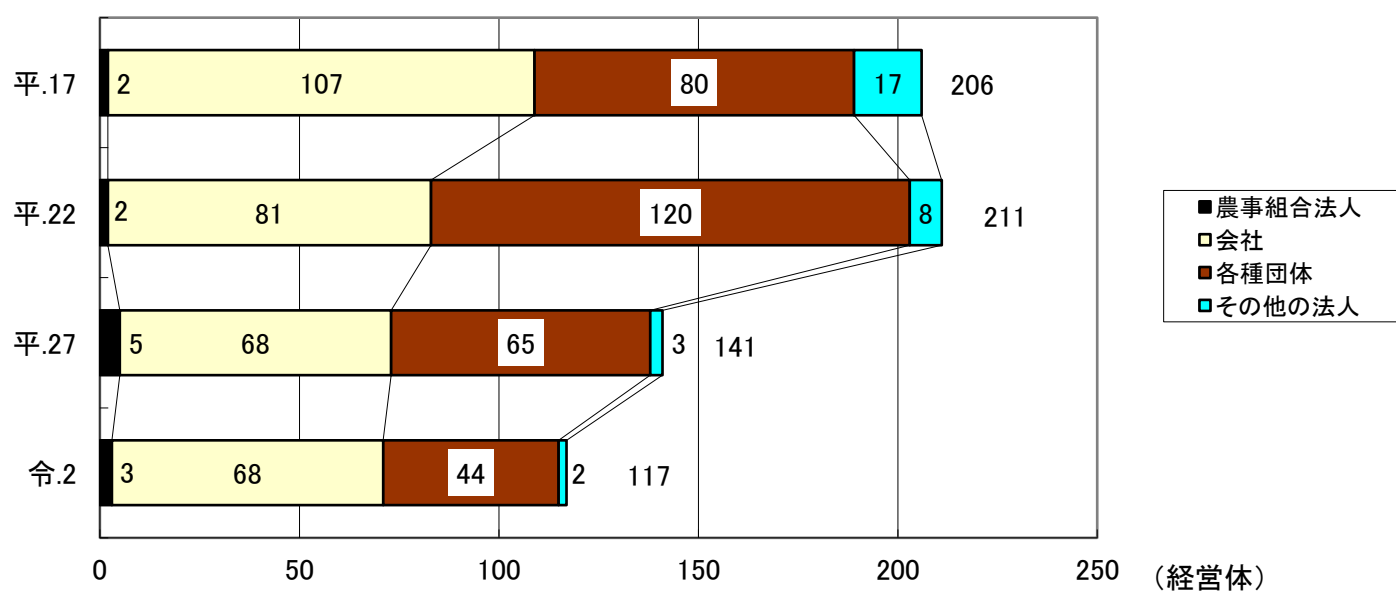
区分	合計	法人化している					
		計	農事組合法人	会社			
				小計	株式会社	合名・合資会社	合同会社
2015年(H.27)	2 059	141	5	68	67	—	1
2020年(R.2)	678	117	3	68	67	—	1
増減数(R2-H27)	△ 1 381	△ 24	△ 2	—	—	—	—
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 67.1	△ 17.0	△ 40.0	0.0	0.0	—	0.0
構成比(%)							
2015年(H.27)	100.0	6.8	0.2	3.3	3.3	0.0	0.0
2020年(R.2)	100.0	17.3	0.4	10.0	9.9	0.0	0.1

(つづき)

単位：経営体

区分	法人化している(つづき)					地方公共団体・財産区	法人化していない	個人経営体
	各種団体				その他の法人			
	小計	農協	森林組合	その他の各種団体				
2015年(H.27)	65	2	34	29	3	42	1 876	1 819
2020年(R.2)	44	3	27	14	2	34	527	521
増減数(R2-H27)	△ 21	1	△ 7	△ 15	△ 1	△ 8	△ 1 349	△ 1 298
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 32.3	50.0	△ 20.6	△ 51.7	△ 33.3	△ 19.0	△ 71.9	△ 71.4
構成比(%)								
2015年(H.27)	3.2	0.1	1.7	1.4	0.1	2.0	91.1	88.3
2020年(R.2)	6.5	0.4	4.0	2.1	0.3	5.0	77.7	76.8

図18 法人化している経営体数の状況(林業経営体)



## (2) 保有山林面積規模別経営体数

保有山林の面積規模別に林業経営体をみると、すべての階層で減少しており、特に3～5ha層は減少数(505経営体減)、減少率(80.9%減)ともに大きく減少している。  
また、保有山林面積規模別の構成割合でみると、保有山林10ha未満の経営体数は348経営体となり、経営体全体の51.3%を占めている。

表22 保有山林面積規模別経営体数

単位：経営体

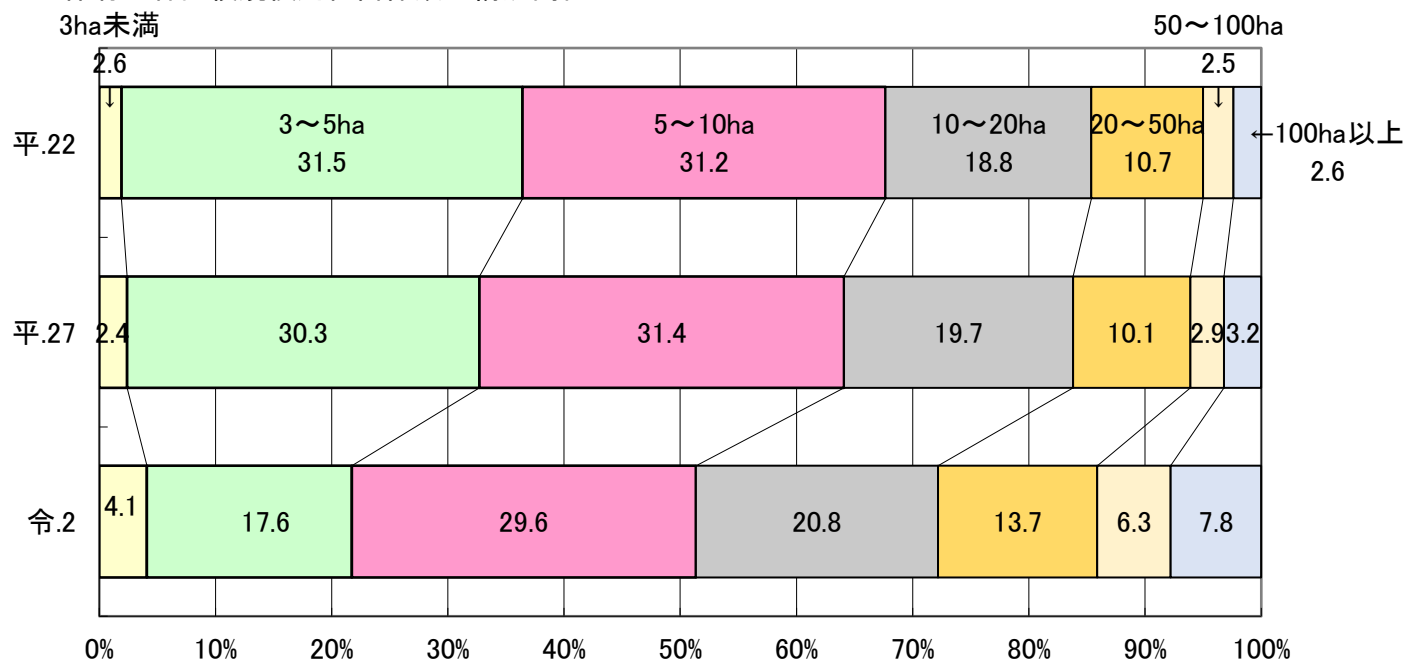
区分	計	保有山林なし	3ha未満	3～5ha	5～10	10～20	20～30	30～50
2015年(H.27)	2 059	29	20	624	647	406	121	87
2020年(R.2)	678	17	11	119	201	141	57	36
増減数(R2-H27)	△ 1 381	△ 12	△ 9	△ 505	△ 446	△ 265	△ 64	△ 51
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 67.1	△ 41.4	△ 45.0	△ 80.9	△ 68.9	△ 65.3	△ 52.9	△ 58.6
構成比(%)								
2015年(H.27)	100.0	1.4	1.0	30.3	31.4	19.7	5.9	4.2
2020年(R.2)	100.0	2.5	1.6	17.6	29.6	20.8	8.4	5.3

(つづき)

単位：経営体

区分	50～100	100～500	500～1,000	1,000ha以上
2015年(H.27)	59	52	10	4
2020年(R.2)	43	46	4	3
増減数(R2-H27)	△ 16	△ 6	△ 6	△ 1
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 27.1	△ 11.5	△ 60.0	△ 25.0
構成比(%)				
2015年(H.27)	2.9	2.5	0.5	0.2
2020年(R.2)	6.3	6.8	0.6	0.4

図19 保有山林面積規模別経営体数の構成割合



(注) 「3ha未満」には「保有山林なし」層を含む。

### (3) 保有山林の状況

山林を保有する林業経営体は661経営体、保有山林総面積は25,764haで、前回に比べ、67.4%、42.0%、それぞれ減少した。

なお、1経営体当たりの保有面積は39.0haで、前回(21.9ha)よりも17.1ha増加した。

表23 保有山林の状況

単位：経営体、ha

区 分	所有山林		貸付山林		借入山林		保有山林	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
2015年(H.27)	2 010	47 162	62	5 110	42	2 380	2 030	44 432
2020年(R.2)	653	28 006	35	5 186	27	2 944	661	25 764
増減数 (R2-H27)	△ 1 357	△ 19 156	△ 27	76	△ 15	564	△ 1 369	△ 18 668
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 67.5	△ 40.6	△ 43.5	1.5	△ 35.7	23.7	△ 67.4	△ 42.0

### (4) 林業作業

#### ア 過去5年間の林業作業

過去5年間に保有山林で林業作業を行った林業経営体は599経営体（林業経営体全体に占める割合88.3%）で、作業別では、下刈りなどがもっとも多く441経営体（過去5年間に林業作業を行った経営体に占める割合73.6%）、次いで切捨間伐が195経営体（同32.6%）となっている。

表24 過去5年間の林業作業別経営体数

単位：経営体

区 分	林業作業を行った 実経営体数	植林	下刈り など	間伐			主伐
				実経営体数	切捨間伐	利用間伐	
2015年(H.27)	1 692	352	1 244	945	716	421	202
2020年(R.2)	599	192	441	277	195	137	129
増減数 (R2-H27)	△ 1 093	△ 160	△ 803	△ 668	△ 521	△ 284	△ 73
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 64.6	△ 45.5	△ 64.5	△ 70.7	△ 72.8	△ 67.5	△ 36.1
構成比(%)							
2015年(H.27)	100.0	20.8	73.5	55.9	42.3	24.9	11.9
2020年(R.2)	100.0	32.1	73.6	46.2	32.6	22.9	21.5

#### イ 過去1年間の林業作業及び作業面積

過去1年間に保有山林で林業作業を行った林業経営体は446経営体（林業経営体全体に占める割合65.8%）で、作業別では、下刈りなどがもっとも多く321経営体（過去1年間に林業作業を行った経営体に占める割合72.0%）で作業面積は1,199ha、次いで切捨間伐が109経営体（同24.4%）で作業面積は421haとなっている。

表25 過去1年間の林業作業別経営体数及び作業面積

単位：経営体、ha

区 分	林業作業を行った 実経営体数	植林		下刈りなど		間伐		
		経営体数	面積	経営体数	面積	実経営体数	切捨間伐	
							経営体数	面積
2015年(H.27)	1 336	228	342	968	3 985	650	465	919
2020年(R.2)	446	88	266	321	1 199	154	109	421
増減数 (R2-H27)	△ 890	△ 140	△ 76	△ 647	△ 2 786	△ 496	△ 356	△ 498
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 66.6	△ 61.4	△ 22.2	△ 66.8	△ 69.9	△ 76.3	△ 76.6	△ 54.2
構成比(%)								
2015年(H.27)	100.0	17.1		72.5		48.7		34.8
2020年(R.2)	100.0	19.7		72.0		34.5		24.4

(つづき)

単位：経営体、ha

区 分	間伐 (つづき)		主伐	
	利用間伐		経営体数	面積
	経営体数	面積		
2015年(H.27)	263	778	114	299
2020年(R.2)	56	681	72	493
増減数 (R2-H27)	△ 207	△ 97	△ 42	194
増減率 (%) (R2-H27)/H27	△ 78.7	△ 12.5	△ 36.8	64.9
構成比 (%)				
2015年(H.27)	19.7		8.5	
2020年(R.2)	12.6		16.1	

## (5) 素材生産

素材生産を行った林業経営体は101経営体、素材生産量は765,807m<sup>3</sup>で、前回に比べ、33.1%、27.5%、それぞれ減少した。

その内訳は、保有山林における生産が60経営体で生産量89,846m<sup>3</sup>、受託もしくは立木買いによる生産が64経営体で生産量675,961m<sup>3</sup>となった。

表26 素材生産を行った経営体数と素材生産量

単位：経営体、m<sup>3</sup>

区 分	計		保有山林の素材生産量		受託もしくは立木買いによる素材生産量			
	実経営体数	素材生産量	経営体数	素材生産量	経営体数	素材生産量	うち、立木買い	
							経営体数	素材生産量
2015年(H.27)	151	1056 883	71	114 499	101	942 384	74	442 904
2020年(R.2)	101	765 807	60	89 846	64	675 961	42	429 188
増減数 (R2-H27)	△ 50	△ 291 076	△ 11	△ 24 653	△ 37	△ 266 423	△ 32	△ 13 716
増減率 (%) (R2-H27)/H27	△ 33.1	△ 27.5	△ 15.5	△ 21.5	△ 36.6	△ 28.3	△ 43.2	△ 3.1
構成比 (%)								
2015年(H.27)	100.0	100.0	47.0	10.8	66.9	89.2	49.0	41.9
2020年(R.2)	100.0	100.0	59.4	11.7	63.4	88.3	41.6	56.0

## (6) 林産物の販売

過去1年間に林産物の販売を行った林業経営体は166経営体(林業経営体全体に占める割合24.5%)で、前回に比べ34.1%減少した。

このうち、用材で販売した経営体は、素材で88経営体、立木で83経営体と、前回に比べ、それぞれ17.0%、43.9%、減少した。

なお、販売金額規模別にみると、販売金額50万円未満の経営体は40経営体(販売のあった経営体全体に占める割合24.1%)、100～300万円の経営体は33経営体(同19.9%)となった。

表27 林産物の販売を行った経営体数

単位：経営体

区 分	合計	販売なし	販売した経営体				
			実経営体数	用材		ほだ木用 原木	特用林産物
				立木で	素材で		
2015年(H.27)	2 059	1 807	252	148	106	13	20
2020年(R.2)	678	512	166	83	88	7	6
増減数 (R2-H27)	△ 1 381	△ 1 295	△ 86	△ 65	△ 18	△ 6	△ 14
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 67.1	△ 71.7	△ 34.1	△ 43.9	△ 17.0	△ 46.2	△ 70.0
構成比(%)							
2015年(H.27)	100.0	87.8	12.2	7.2	5.1	0.6	1.0
2020年(R.2)	100.0	75.5	24.5	12.2	13.0	1.0	0.9

表28 林産物販売金額規模別経営体数

単位：経営体

区 分	計	販売なし	販売した 実経営体数	50万円 未満	50～100 万円	100～300	300～500	500～1,000	1,000～ 3,000
2015年(H.27)	2 059	1 807	252	87	45	61	11	12	13
2020年(R.2)	678	512	166	40	26	33	12	11	10
増減数 (R2-H27)	△ 1 381	△ 1 295	△ 86	△ 47	△ 19	△ 28	1	△ 1	△ 3
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 67.1	△ 71.7	△ 34.1	△ 54.0	△ 42.2	△ 45.9	9.1	△ 8.3	△ 23.1
構成比(%)									
2015年(H.27)			100.0	34.5	17.9	24.2	4.4	4.8	5.2
2020年(R.2)			100.0	24.1	15.7	19.9	7.2	6.6	6.0

(つづき)

単位：経営体

区 分	3,000～ 5,000	5,000万～ 1億円	1～3	3～5	5億円以上
2015年(H.27)	5	7	6	4	1
2020年(R.2)	2	13	14	2	3
増減数 (R2-H27)	△ 3	6	8	△ 2	2
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 60.0	85.7	133.3	△ 50.0	200.0
構成比(%)					
2015年(H.27)	2.0	2.8	2.4	1.6	0.4
2020年(R.2)	1.2	7.8	8.4	1.2	1.8



## 4 総農家

### (1) 総農家数

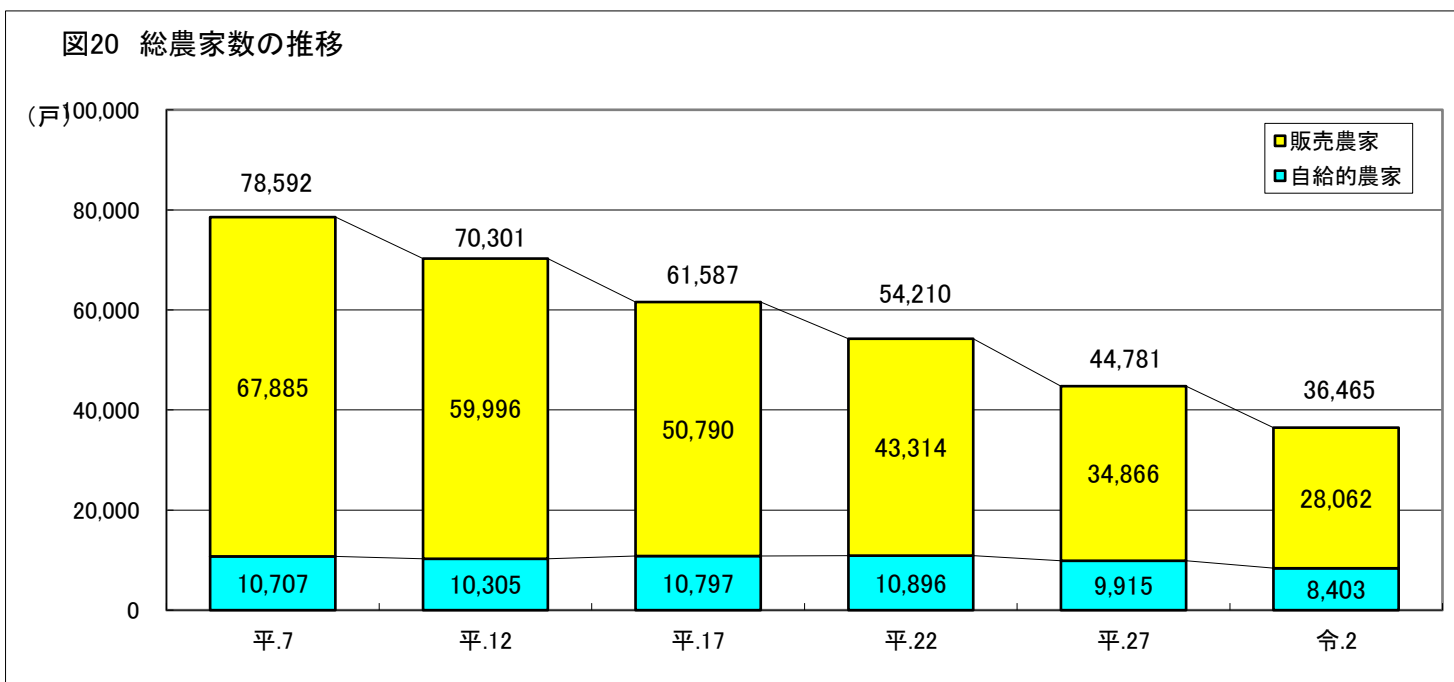
販売農家、自給的農家を合わせた総農家数は36,465戸で、前回に比べ18.6%減少した。  
 このうち、販売農家数は28,062戸で、前回に比べ19.5%、自給的農家数は8,403戸で、前回に比べ15.2%、それぞれ減少した。

表29 総農家数

単位：戸

区分	総農家			林家
	販売農家	自給的農家		
2015年(H.27)	44,781	34,866	9,915	15,900
2020年(R.2)	36,465	28,062	8,403	13,801
増減数 (R2-H27)	△8,316	△6,804	△1,512	△2,099
増減率(%) (R2-H27)/H27	△18.6	△19.5	△15.2	△13.2

図20 総農家数の推移



## (2) 経営耕地面積

総農家の経営耕地面積は84,033haで、前回に比べ10.7%減少した。このうち、販売農家にかかる面積は82,670haで、前回に比べ10.6%、自給的農家にかかる面積は1,363haで、前回に比べ18.9%、それぞれ減少した。

なお、総農家一戸当たりの平均耕地面積は2.34haで、前回(2.11ha)を0.23ha上回り、販売農家では2.96haとなり、前回(2.66ha)を0.30ha上回った。

表30 経営耕地のある農家と経営耕地面積

単位：戸、ha

区分	総農家			販売農家			自給的農家		
	農家数	面積	1戸当たり面積	農家数	面積	1戸当たり面積	農家数	面積	1戸当たり面積
2015年(H. 27)	44 560	94 103	2.11	34 809	92 422	2.66	9 751	1 681	0.17
2020年(R. 2)	35 968	84 033	2.34	27 918	82 670	2.96	8 050	1 363	0.17
増減数 (R2-H27)	△ 8 592	△ 10 070	0.22	△ 6 891	△ 9 752	0.31	△ 1 701	△ 318	△ 0.00
増減率(%) (R2-H27)/H27	△ 19.3	△ 10.7	10.6	△ 19.8	△ 10.6	11.5	△ 17.4	△ 18.9	△ 1.8

図21 経営耕地面積の推移

